

## 発刊にあたって

松本大学では、教員の研究成果の公表は、「松本大学研究紀要」と、この「地域総合研究」の二誌によってなされています。前者は、本学教員の研究成果専用の公表の場として、昨年度（平成15年3月）創刊されました。後者は、本来、松商学園短期大学の付属研究機関「松商学園短期大学総合研究所」の研究活動の公表の場として平成13年7月に創刊され、「松本大学」の開設に伴って、松本大学の付置機関「松本大学地域総合研究センター」の研究成果の公表の場として継承され、平成14年10月第2号が刊行されました。

これまでは、紀要的役割と「地域総合研究センター」の研究活動の公表誌という二つの役割を担ってきましたが、本年度からは、第一部：松本大学地域総合センター研究員研究報告、第二部：松本大学地域総合研究センター活動報告、(1)地域研究センターの活動報告 (2)地域総合研究センターの調査・研究活動内容、第三部：松本大学アニュアルレポート、(1)松本大学総合経営学部・松本大学松商短期大学部の研究活動報告 (2)エクステンションセンター活動報告という組み立てとしました。これは、従来の二つの役割の他、本学教員の年間の広範で多様な知的活動を「アニュアルレポート」として公表する役割を付け加えたものです。こうすることで、本学の個々の教員が何をどのように研究しているのかを一目瞭然でお分かりいただけたらと考えたからです。このような本学からの情報発信が、地域社会で有効にご活用いただければ幸いです。

地域との連携の推進を唱道する松本大学としては、地域総合研究センターを拠り所として、地域の皆さんとの共同研究、“共育活動”をますます活性化し、幸せな地域社会づくりにいささかでも貢献できれば本望です。

本誌についてのご意見、ご感想、ご提言等お寄席いただければ有り難く思います。

平成15年10月

松本大学学長 中 野 和 朗